



中里勇太（なかざと ゆうた）

1986年群馬県に生まれる。2013年東京藝術大学 大学院 美術研究科 彫刻専攻 修了。
2011年サロン・ド・プランタン賞 受賞、平山郁夫賞 受賞、三菱地所賞 受賞。2012
年越後妻有トリエンナーレ 大地の芸術祭参加。2015年FUMA Contemporary Tokyo
| 文京アートにて個展開催。2016年アートフェア東京にて個展開催。2015年Young
Art Taipei、Art Stage Singapore参加。2016年Art Taipei参加。2018年頃FUMA
Contemporary Tokyo | 文京アートにて個展開催予定。
その他、展示多数。

動物を主題とした中里勇太の木彫は丁寧に彫り込まれた波毛が隆起し、圧倒的な生命感に満ちている。近年では太宰治や宮沢賢治等のアイロニックな物語に着想を得て、動物の一瞬のポーズや表情を通し、人間の本质を描き出した作品を発表している。